

『赤羽で下車したことはありますか？』

令和8年3月22日（日）
さいたま支部ペガサス分団

埼玉県民なら多くの人知っている街『赤羽』。でも電車で通過するだけで、知っているけど知らない街の代表格です。しかし調べてみると、城址、街道、宿場、渡し場などがあり、昔から埼玉との結びつきが強い地域です。またそれは赤羽の自然環境と大きく関わっています。

赤羽は武蔵野台地の東端に位置し、豊かな湧水をもとに、谷戸、池、湿地が広がっています。この豊かな湧水をもとに古くから稲作が行われていたようです。赤羽の南側はかつては『稲付村』と呼ばれていたことからそのことが分かります。その谷戸の湧水を生む台地は高さが約20m、高さはそれほどでもありませんが、特徴的なのは台地崖の急峻さです。この崖からは赤土の粘土が採取できたと思われます。これは赤羽の地名の由来ともいわれ、赤土の粘土を表す『赤埴』がそれにあたります。また、台地は北東に伸び、荒川の右岸ぎりぎりまで続きます。対岸の埼玉の安行台地にも近く、約800年前、ここに鎌倉街道中道が通されました。室町時代に、南関東の扇谷上杉氏と北関東の古河公方が争うようになると、上杉氏の家臣の太田氏が戦いの前線となった岩付に築城、鎌倉街道沿いの赤羽には太田道灌が稲付城を築城しました。稲付城は戦国時代に廃城となりましたが、城址の静勝寺に江戸時代に造られた太田道灌の木造があります。今、赤羽の谷戸は住宅地となりましたが、清水坂公園では今でも湧水があり、公園内の自然ふれあい情報館の裏の池では、春になるとたくさんのアズマヒキガエルが集まり産卵をしています。このような赤羽の街を育んだ自然環境の特徴の台地と谷戸、今回の目玉の一つが絶景です。台地崖の縁からの絶景もぜひお楽しみください。

1 期日 令和8年3月22日（日）

☂ 雨天、交通事情の混乱があった場合等は中止します。

2 集合 赤羽駅南改札口の駅中にあるトイレ付近 午前9時30分

※ 今回は駅の中が集合場所です。

※ 南改札口は、ホームの東京・新宿方面側の階段を下りた所です。

3 解散 赤羽駅北改札口前 午前12時30分頃

4 自然観察ウォーキング 全行程約3.2km ※今回は階段が多いです。

赤羽駅→日光御成街道（鎌倉街道中道）→清水坂公園自然ふれあい情報館→稲付公園
→香取神社→稲付城址→亀ヶ池弁財天→赤羽駅

※ 天候等により、当日になって行程を変更することもあります。

5 持ち物

クリップボードまたは探検バック、セロハンテープ、帽子、水分補給用の飲料、雨具、
持っていれば双眼鏡

6 その他

- ・ ペガサス分団活動では資料を用意する関係上、参加人数を把握するために事前の申し込みをお願いしています。
- ・ 小学4年生以下の児童には、保護者の方の付き添いをお願いいたします。
- ・ 団体行動です。1人で行動してはいけません。用事がある時はリーダーと一緒に行ってもらいましょう。
- ・ 危険な物（刃物・ライター・モデルガン・薬品類など）、周囲に迷惑をかけやすいもの（大きな音のするものなど）、ペット等は持ってきたり連れてきたりしないでください。
- ・ 天候、交通事情、参加者の健康状態等で行程を変更することもあります。